

卒業論文発表会

栄養学科が初の卒業論文発表会開催

平成20年度学科開設以来、初めて卒業生を送り出す栄養学科では、12月22日、学科として初の卒業論文発表会を開催しました。学生のみなさんが自分自身で行った研究を発表する場はこれが初めて。ひとり8分間のプレゼンテーションは、皆緊張しながらも、大きな声で、わかりやすい発表を心がけていました。会場からは、積極的な質問もたくさん出ていました。

発表・司会進行・照明・受付・質問等すべてが学生主導で行われた発表会には、県内外の病院・施設などの関係者の方々にもご参加いただきました。

発表者から一言

高校の頃から栄養学に興味を持ち始めて本学へ進学。当時は栄養サークルにも参加していました。

私が卒論のテーマに選んだのは「食育」。保育所に見学に行ったり、論文をまとめるため、様々なやりとりもさせていただきました。

県内の食育についての現状を把握しながら研究を進め、やっとの思いで論文にまとめることができました。

資料作成の際は、相手にわかりやすく伝えるため、文章が長くならないことを心がけました。

本番はとても緊張しました。

栄養学科 4年 高橋智美（たかはしさとみ）さん



「父親が高血圧なので、食べ物で血圧を下げてあげたい。」

その思いが今回の研究テーマとなりました。

アピオスからペプチドを検索する研究を岩井先生と一緒にできたことが特にうれしかったです。

研究中は機器の故障などに悩まされましたが、無事にまとめることができほっとしています。何十枚もある研究結果を、スリムな論文にまとめるのは大変でした。

発表は時間内におさまるか不安でしたが、なんとかクリア！

資料提供していただいた方が見に来てくださったことには感謝しています。

栄養学科 4年 金慶暁辰（かねよしげようしん）さん



後輩から一言

県内外の病院や施設の方などにもお越しいただいている発表会だと知り、驚いています。先輩方の発表はしっかりしていて、すごいなと感じます。また、他の研究室の内容も聞けるのが有意義だと感じました。

私たちも後輩にそう思われるよう、頑張ります。



栄養学科 3年 宮本雪菜（みやもとゆきな）さん、中村亜利沙（なかむらありさ）さん、齋藤萌子（さいとうもえこ）さん